

(2) 資産に含まれる文化財

整理表

加賀地域

	名称	主体	種別	面積	要約
1	旧小倉家住宅	国	重要文化財	293m ²	江戸時代初期に建てられた土壁造り、栗の小羽板葺き石置き屋根、二階建ての建物である。白山山頂における信仰を実質的に支えた白峰の山村農家の特色を示す代表的建築である。県が民俗資料館において良好に管理している。
2	太田の大トチノキ	国	天然記念物	約1,100m ²	幹周径で全国一を誇る。白山麓ではその種子を食用としており、地域の食文化史を知るうえで貴重である。
3	御仏供スギ	国	天然記念物	1,143m ²	南北朝時代初期に禅宗の祇陀寺を開いた祖継大智が植えたと伝えられる。当時、修験場のあった吉野への新興の禅宗進出を示す重要な資産である。
4	鳥越城跡 附二曲城跡	国	史跡	286,620m ²	室町時代に加賀地方は百年にわたり一向一揆による世界史上画期的な「百姓ノ持チタル国」が成立した。鳥越城跡は、白山麓の一向一揆の拠点であり、織田信長に最後まで抵抗し、1580年に陥落した城跡。現在史跡公園として整備されている。
5	旧杉原家住宅	石川県	建造物	1,109m ²	江戸時代末期に建てられた土壁造り、栗の小羽板葺き石置き屋根、三階建て建物である。天領時代には庄屋・組頭を勤めた白峰の旧家の建物で、1棟の建物規模としては県内最大級である。県が民俗資料館において良好に管理している。
6	旧織田家住宅	石川県	建造物	708m ²	岐阜県白川の合掌造り建物に対応する白山麓の土壁造り建物である。明治時代初期に建てられた小羽板葺き石置き屋根、三階建ての建物で、代々商業・製糸業等が営んだ白峰を代表する貴重な商家建物である。県が民俗資料館において良好に管理している。
7	八坂神社本殿	白山市	建造物		元牛首社と呼ばれ、牛頭天王を祀り、薬師三尊を本地仏とする。文政5年(1822)に上棟された入母屋造、柿葺の建物で、建仁寺の和様の流れをくむ。白山山頂の信仰を実質的に支えた白峰の伝統的建造物群の一角を占める。
8	白山比咩神社 境内参道	白山市	名勝		全国に約2,700社を数える白山神社総本社の表参道である。延長230mにわたり、鬱蒼とした木立(9、10を含む)が生い茂り、神域にふさわしい景観である。当神社は、国宝剣、国重要文化財10件の他、多数の文化財を所有する。
9	白山比咩神社 の老スギ	白山市	天然記念物		市指定名勝白山比咩神社境内参道の西側に位置する老スギである。胸高径6.8m、樹高42mを測り、樹齢800年といわれる。
10	白山比咩神社 の大ケヤキ	白山市	天然記念物		白山比咩神社神門前の参道西側に位置する大ケヤキである。胸高径5.3m、樹高25mを測り、樹齢1,000年といわれる。
11	白山	(未指定)	(名勝・文化的景観)		日本三名山の一つであり、日本を代表する自然が数多く良好に残される。養老元年に開かれたと伝えられ、白山信仰の霊峰として仰がれる。白山国立公園の特別保護地区であり、ユネスコの生物圏保存地域にも指定される。
12	白山山頂・禅定道遺跡群	(未指定)	(史跡)		日本最高所の信仰遺跡で、山頂周辺及び禅定道沿いに修行窟、行場跡、堂跡、室跡、積石塚等、多くの信仰関連遺構が残る。積石塚の一つである四塚は、径12～16m、高さ3mの塚を最大に、6基が確認できる。
13	白峰の伝統的建造物群	(未指定)	(伝統的建造物群)		白峰集落は、かつて山頂の白山信仰を支えた村であり、現在は白山登山の拠点となる。重要文化財「銅造十一面観音立像」を含む白山下山仏等を安置する林西寺や、山岸家住宅等豪雪地帯を代表する古い町並みを良好に残す。

越前地域

	名称	主体	種別	面積	要約
14	白山平泉寺旧境内	国	史跡	200ha	越前馬場平泉寺(白山信仰の越前側の拠点)。中世には四十八社・三十六堂・六千坊が境内に建ち並び、寺領は九万石・九万貫に達したという。天正2年(1574)には一向一揆の焼き討ちにあい全山焼失。平成元年度からの発掘調査では、国内最大ともいえる中世宗教都市の遺構が確認されている。
15	旧玄成院庭園	国	名勝	0.1ha	天正2年(1574)の焼き討ち後、平泉寺を再興した玄成院の庭園である。枯山水様式の庭園であり、室町幕府管領の細川高国が作庭したと伝えられる。
16	越前禅定道	(未指定)	(史跡)	全長30kmの内 14km	平泉寺から白山山頂を目指す越前側の参詣道。三禅定道の中では最短距離で白山山頂に達し、全国でも最も険しい修験の道の一つ。かつて道沿いには十二の宿(宗教施設)があったとされ、最近の調査では良好な状態で遺構や行場が確認される。

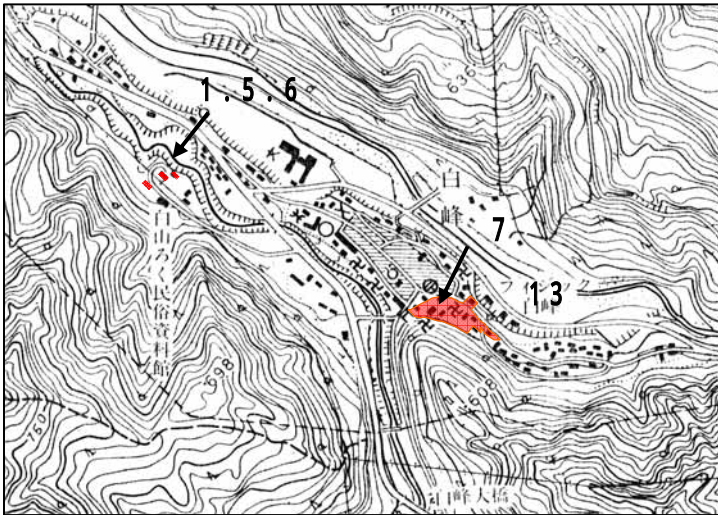
美濃地域

	名称	主体	種別	面積	要約
17	石徹白の大杉	国	特別天然記念物		美濃禅定道沿いにある本州最大のスギ巨木で、幹周径約14.5mを測る。白山を開いた泰澄が植えたともいわれ、古くから「十二抱のスギ」と呼ばれる。なお、指定木脇に今清水社の礎石があり、参詣路の面影を残す。推定樹齢約1,800年。
18	若宮家住宅	岐阜県	重要文化財		白山長滝神社の社家と推察され、長良川上流の民家遺構として貴重である。天明5年(1785)の棟札と、文化8年(1811)の棟札及び居宇普請方諸事覚帳が残される。
19	阿弥陀ヶ滝	岐阜県	名勝		落差60mを測り、水量も豊富である。養老6年(722)に白山を開山した泰澄が発見し、長滝と呼んで長滝寺を建立したとの伝承をもつ。この長滝寺の僧が修行を行っていたところ、忽然と阿弥陀三尊が現れたことから、阿弥陀ヶ滝と名付けたとも伝える。
20	白山神社のスギ	岐阜県	天然記念物		美濃馬場の白山長滝神社境内にあるスギの大木である。根元の幹周8m、目通り幹周6.1m、樹高40mを測り、樹勢は旺盛である。
21	石徹白の浄安スギ	岐阜県	天然記念物		美濃禅定道の間地点に当たる白山中居神社の境内にあるスギの大木である。根元幹周13.6m、目通り幹周12.1m、高さ約35mを測り、樹齢1200年とも言われる。かつて、僧が根元に白山参詣の宿坊として貯えた大金を埋めたといわれる。
22	白山中居神社のブナ原生林	岐阜県	天然記念物	2.7ha	白山中居神社の背後にあり、社地保安の役割を果たす。幹周4.7mのブナを最大に、約115本を数える原生林として貴重である。
23	白山中居神社の森	岐阜県	天然記念物	2.2ha	参道・社殿を取り囲むスギの大木群である。推定樹齢200～1000年以上の140余本の老木からなり、岐阜県下で希なスギの森である。
24	大踏山のミズバショウ群生地	岐阜県	天然記念物	5a	標高1000mの大踏山(社地)に群生する。4月下旬にミズバショウ及びザゼンソウ、ショウジョウバカマなどの花が咲き、岐阜県のミズバショウの西限となる。
25	白山長滝神社、長滝寺境内の景観	(未指定)	(文化的景観)		境内に古代の牛王石、鎌倉時代の石灯籠(国重要文化財)や、厳肅な雰囲気をもつ本殿・拝殿があり、神仏習合の名残を留める長滝寺も並存し、良好な景観を残している。例年1月6日、国指定文化財の長滝の延年が舞われる。
26	白山中居神社境内の景観	(未指定)	(文化的景観)		参道両側に樹齢800年の老スギの並木が鬱蒼と茂り、注連縄が掛けられた泰澄ゆかりの影向石がある等、白山信仰に係り良好な景観を色濃く残す。また、境内を横断する宮川の清流は神域を一層荘厳なものとしている。
27	石徹白の伝統的建造物群	(未指定)	(伝統的建造物群)		白山参詣の案内や宿を営み、冬期は白山中居神社の御師として菓草等を持って白山信仰を全国に広めた白山社人の村である。赤い屋根等、独特な景観を色濃く残す。住居の間取りには仏間と別に「ハクサンの間」をもつことに大きな特徴がある。

参考文化財

1	白峰の出作り民家	国	重要有形民俗文化財		標高820mの山中に建てられた永久出作り小屋である。大部分が家族の手により建てられた技術的にも素朴なもので、出作りの原初的形態を今に伝える貴重な建築物である。
2	尾口のでくまわし	国	重要無形民俗文化財		深瀬と東二口の両地区に古くから伝承されている人形浄瑠璃である。でくまわしは、雪深い旧正月に演ぜられる単調な素朴なもので、文楽以前の古態を伝え、操法がひとりづかいであり、語りが文弥節といわれる点が貴重である。
3	白峰の出作り民家	石川県	有形民俗文化財		標高750mの山あい建てられた白山麓の焼畑農業を代表する大型永久出作り農家である。江戸時代中期の建築様式を用いて、自然に適応し生業に即した構造をもつ、地域を代表する貴重な建築物である。
4	旧表道場	石川県	有形民俗文化財		江戸時代末期の山村における真宗信仰の道場である。外観は一般民家と同じであるが、寺としての行事を営む衆生の間や、阿弥陀を安置する内陣等、地域を代表する貴重な建物である。
5	牛首紬	石川県	無形文化財		旧白峰村で平安後期より生産されていたと伝えられる。玉繭から手引きした糸で作るなど、全国的に類のない手仕事の技が生かされた一貫作業を特徴とする。
6	かんこ踊	石川県	無形民俗文化財		毎年白山開山祭の前夜に踊られる。白山の修行を終えて下山する泰澄大師を迎えた時の歡喜の踊りを起源するなど、いろいろ説がある。白山信仰に直結した地域を代表する民俗文化財である。
7	長滝の延年	国	重要無形民俗文化財		白山長滝神社神事の修正延年の最終日(1月6日)奉納される舞である。約700年前から続き、国内では他に奥州平泉の毛越寺に残るのみである。
8	五段の神楽	郡上市	無形民俗文化財		保安元年(1120)の白山中居神社「白山上下年中事祭祀巻」に五行之舞として記載がある。五段の神楽は巫女の舞いで、鶯の舞、二人舞、鈴の舞、扇の舞、幣の舞の五種目があり、5月の例祭に奉納される。
9	古楽面	国	重要文化財	25面	室町時代から長滝寺では能が奉納されてきた。現在残る多数の能面のうち、南北朝時代の作とされる延命冠者をはじめ、室町時代の女面、白色尉、延命冠者などがあり、地方能狂言面の研究上貴重な資料である。

(2)- 構成要素の位置と写真



1 旧小倉家住宅



5 旧杉原家住宅



6 旧織田家住宅



7 八坂神社本殿

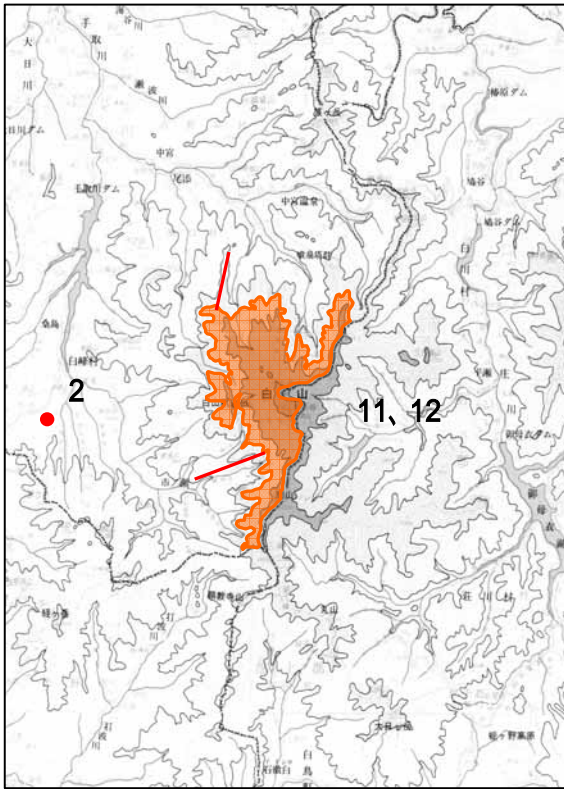


13 白峰の伝統的建造物群



13 白峰の伝統的建造物群

(2)- 構成要素の位置と写真



2, 11, 12



11 手取川下流より仰ぐ白山



12 白山山頂・禅定道遺跡群(四塚)



参考 3 白峰の作出り民家



12 白山山頂・禅定道遺跡群(天池室)

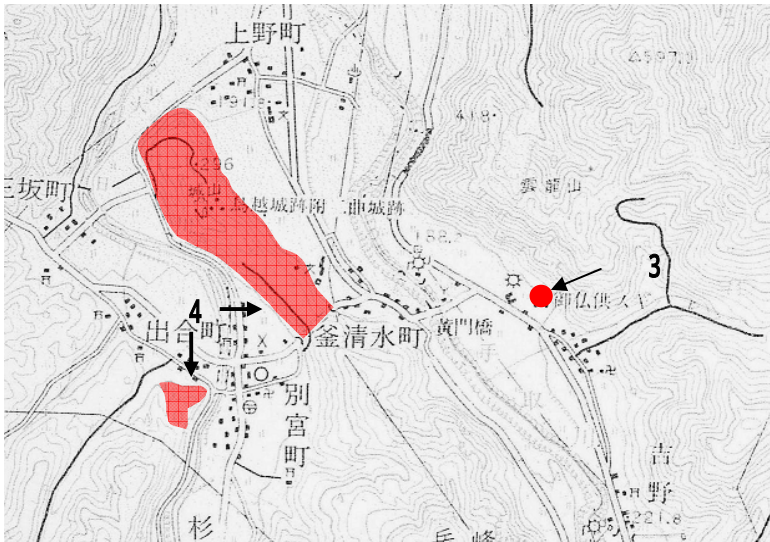


参考 6 かんこ踊



2 太田の大トチノキ

(2)- 構成要素の位置と写真

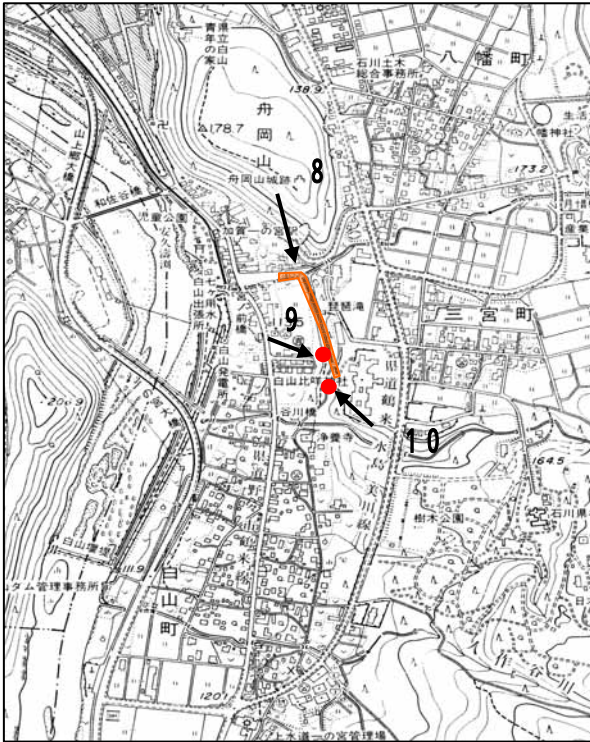


4 鳥越城跡附二曲城跡



3 御仏供スギ

(2)- 構成要素の位置と写真



8 ~ 10



8 白山比咩神社境内参道



10 白山比咩神社の大ケヤキ



8 白山比咩神社境内参道



9 白山比咩神社の老スギ



白山比咩神社(参考)

(2)- 構成要素の位置と写真



15 旧玄成院庭園



14 白山平泉寺旧境内(白山神社境内)



16 越前禅定道

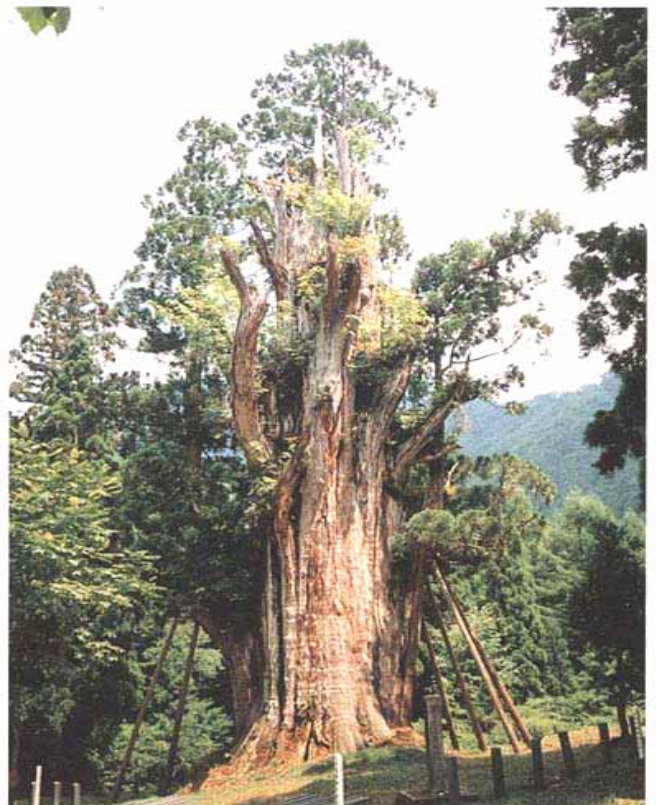
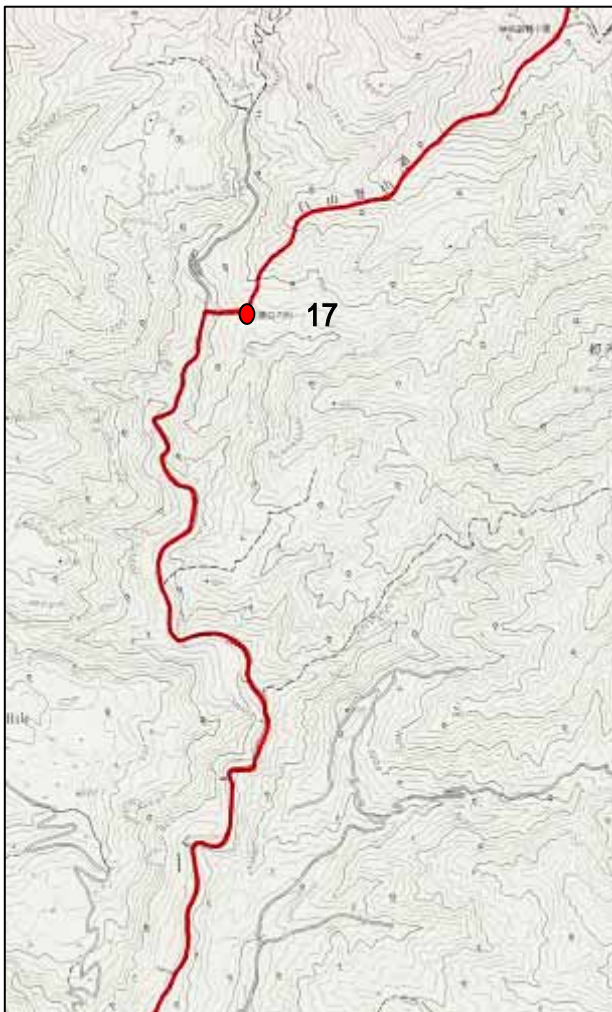


14 白山平泉寺旧境内(発掘で出土した中世の石畳)

(2)- 構成要素の位置と写真

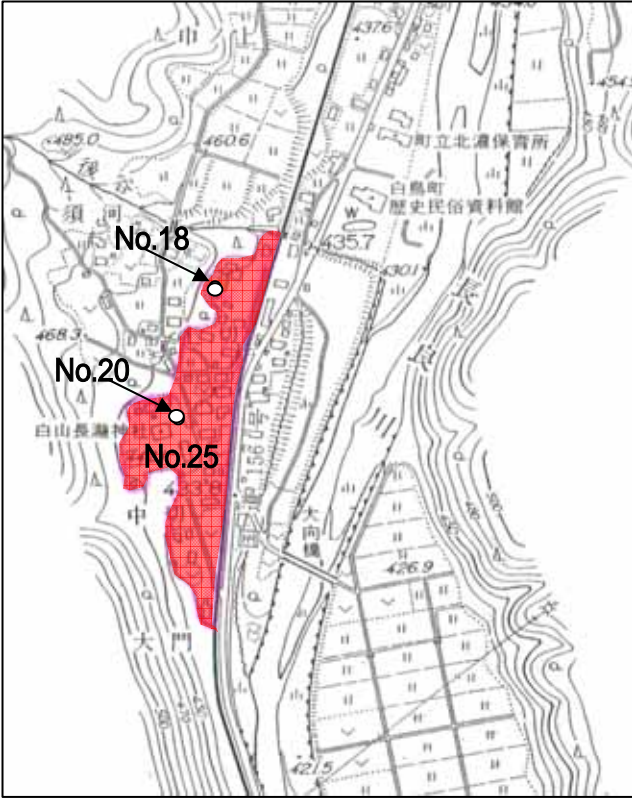


19 阿弥陀ヶ滝



17 石徹白の大杉

(2)- 構成要素の位置と写真



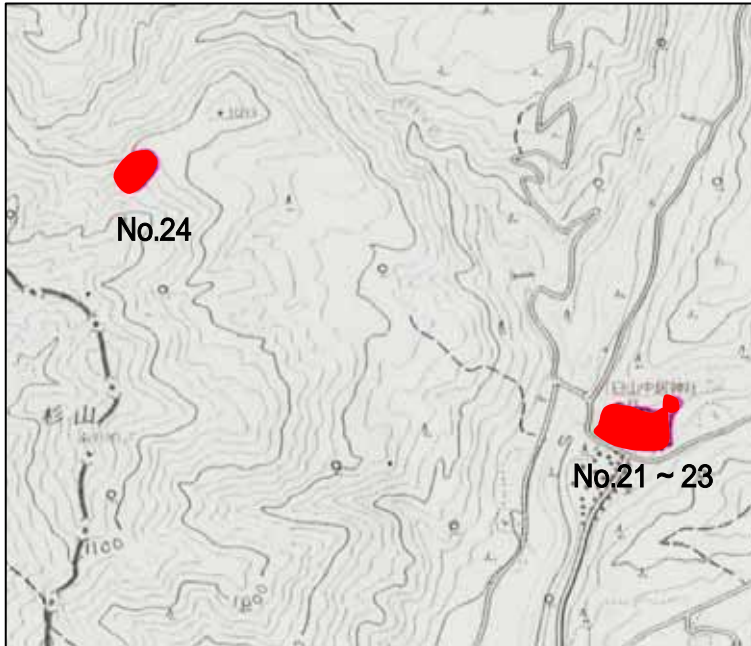
20 白山神社のスギ



18 若宮家住宅

25 白山長滝神社、白山長滝寺境内の景観

(2)- 構成要素の位置と写真



21 石徹白の浄安スギ



24 大踏山の水バショウ群生地

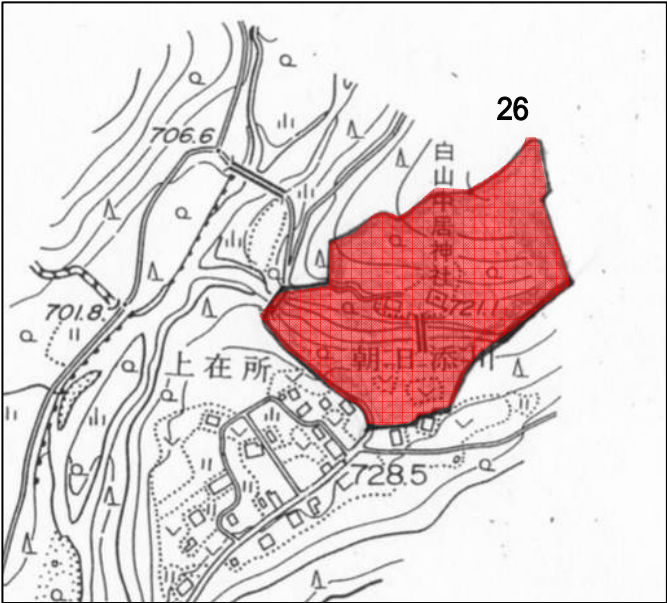


22 白山中居神社のブナ原生林



23 白山中居神社の森

(2)- 構成要素の位置と写真



26 白山中居神社境内の景観



上在所のしめ縄



白山中居神社



白山中居神社境内



白山中居神社 影向石



白山中居神社五段の神楽

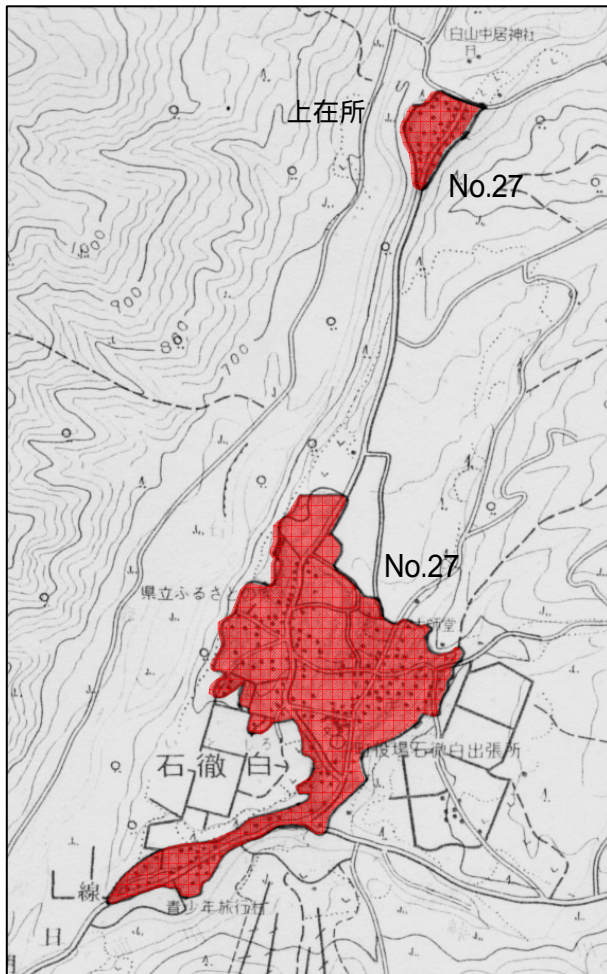


白山中居神社 磐境

(2)- 構成要素の位置と写真



上在所の景観



27 石徹白の伝統的建造物群



清住家住宅(上在所)



上村家住宅(中在所)



中在所の景観